後輩たちへのエール！　その６０

２０２２年4月6日

コロナを言い訳にしたくない！学生を終えて学んだこと

◇今回は、 稲熊瑞貴さん(名古屋外国語大学外国語学部卒)からのメッセージです！

はじめに

　関高生のみなさん、こんにちは。2018年に関高校を卒業しました稲熊瑞貴です。この春に大学を卒業し、社会人になります。

　2年前から新型コロナウイルスによってみなさんの限られた高校生活にも大きな影響を与えていること、とても悔しくやるせない気持ちでいっぱいです。そんな思い通りいかない中で勉学や行事に励んでいるみなさまのことをとても素敵に思います。今回は私の大学生活で学んだこと、そして皆さんがもし辛いことや思いがけないことに遭遇した時の励ましになればと思い書かせていただきました。つたない文章ではありますが、ご一読いただけますと幸いです。

▽目次

① 私の2度の挫折（受験・留学）

② 学んだこと・伝えたいこと

③ 最後に

①私の2度の挫折

　私はこれまでに2度の挫折を経験しました。そしてこの挫折経験から自身とよく向き合い新たなスタートを切ることができました。その二つから学んだことをお伝えしたいと思います。一つ目は「大学受験」、二つ目は「留学の中止」です。

<u>▹一つ目：大学受験</u>

　高校時代、私の周りには国公立を目指す友人ばかりで、私も当たり前のように国公立を目指し受験しました。しかし結果は前期後期不合格、そして滑り止めで受験した私立も不合格通知ばかりでした。その中で奇跡的に1学科だけ合格することができました。それが、3月まで通っていた名古屋外国語大学中国語学科です。今思えば高校2年生の時オープンキャンパスで母と訪問したこと、進路行事でオープンキャンパスに参加したこと、数々の接点がありご縁があったのかなと思います。

<u>～勉強面での変化～</u>

　入学当初は受験で上手くいかなかった自身の気持ちをうまく整理できないまま過ごしていましたが、同じような境遇の友人

と出会い「このままではいけない！おかれた場所で頑張ろう」と互いに励まし合い、前向きになることができました。本学は留学制度がとても充実しており、規定の成績や検定に合格できれば誰でも授業料だけで長期留学に行けるので、半分以上の学生が留学に行く環境でした。

私もこの制度獲得、長期留学を目指し毎日の勉強を頑張りました。(検定前や試験前は受験期のように毎日夜10時ごろまで研究室に残り友達と勉強していました。(笑))

また、本校で行われる中国語弁論大会にも参加しました。2年次には学内2位になり、京都外国語大学で行われた弁論大会にも参加し、学内でも副学長賞をいただけることになりました。1年生からコツコツ頑張ってきた勉強の成果がようやく出てきたように感じました。そして留学制度も無事利用できることが決まり、北京外国語大学に3年次の１年間留学することになりました。

~~価値観の変化~~

<u>～価値観の変化～</u>

当時の私は私立へ進学したことをとてもネガティブに感じていました。しかし、高校で所属していた演劇部の先輩を頼りに、栄にある旅行会社で行われている学生団体に参加してみるとネガティブな気持ちに変化がありました。そこには愛知県内の大学に通う学生が多く集まってきていて、海外旅行や海外ボランティア、バックパッカーなど多彩で多様な経験をしてきている先輩ばかりでした。これまで私のなかで学力・偏差値ばかりが物事を測る物差しになっていたことを深く反省しました。そして、自分自身も何か行動したい！とポジティブな気持ちになったことを覚えています。そこからフィリピンのスラム街でボランティアができるプログラムに一人で参加を決め、はじめましてのメンバーと1週間ボランティアをしてきました。ここでの経験もたくさんお伝えしたいことがあるのですが割愛させていただきます。

（学生団体とフィリピンボランティアの写真）

<u>▹2つ目：留学の中止</u>

こうして勉強の面でも価値観の面でもだんだんと努力が実を結び始め、行動が変化し、充実してきた中で2020年を迎えました。留学までもあと1週間となった時、中国でウイルスが流行し留学も延期から中止が決まりました。一年生のころ、落ち込んでいた自分を奮い立たせるきっかけとなった留学が中止になったことは、本当にショックで、悔しくて、

受け止められなくなりました。
　しかし、同じ境遇で留学から緊急帰国した先輩がかけてくださった言葉「いつまで落ち込んでいても仕方ないよ。今できることはなに？？」という言葉でもう一度前を向くことができました。
　それからニュースを見るたびに、社会について無知なことに気づき新聞を読み始めました。継続するために友達を誘い、zoomを使って記事を要約し感想を伝え合うことを始めました。そしてSNSで呼びかけ、東大生から大学院生、高校生まで全国から約30人の学生が集まって毎日新聞シェア会を始め、1年間継続することができました。お互いのバックグラウンドが異なるため、同じ記事でも様々な価値観がありとても刺激的でした。
　また、岐阜にある株式会社ファミリーさんのもとで、コロナ禍での学生団体立ち上げにも参加しました。可児の高校生にプレゼンを行ったり、御嵩町の役所の方とふるさと納税の商品企画など様々な活動をしていました。地元にあるとても素敵な企業さんなのでぜひ調べてみてください！！
②学んだこと・伝えたいこと
　この2つの経験は傍から見れば「残念だ、気の毒だ」と思われるようなことかもしれません。私も描いていたものとは大きく異なっていたり、コロナによって諦めなければいけない状況を経験したりして悔しい思いを何回もしました。
　しかしこの経験を通して学んだことは、どんな状況だとしても、何があっても、自分次第だということです。やりたいこと、気になることがあれば失敗を恐れず、時間を惜しまず飛び込んでみることが本当に大切です。もちろん今回のコロナのようにどうすることもできない状況もありますが、そんな中で「コロナだからこそできること」を考えてみてください！そして飛び込んだ先での出会いも大切にしてみてください。私自身も上手くいかないこともありましたがその反面で新たな出会いがあり、ご縁があり、チャレンジがありました。おかげさまで今大学生活を振り返ってみるとても楽しかったですし、思い通りではなかったものの、100%満足しています！もし外大ではなかったら中国語は学んでいないし、友人にも出会えていないし、学生団体に入ろうと思ってすらいないと思います。そして置かれた場でできることから始めてみれば必ず後につながるということが分かる大学生活でした。

　私の好きな言葉で”Diamonds can be cut only by diamonds. Don’t you see what makes you shine and grow is you. ”（ダイヤモンドはダイヤモンドでしか削ることができなく、自身を輝かせるのも、成長させるのも自分自身しかいない）という言葉があります。私たちもダイヤモンドと同じように輝くのも石のままでいるのも自分次第のようです。どうかみなさんも勇気を振り絞って前に進んでみてください。きっと素敵な方向に向かうと思います。

③最後に

冒頭でも話したのですがこのコロナ禍で様々な活動をされている関高生の様子をSNSで拝見し、とても尊敬しています。部活や行事なども制限されている中で工夫を凝らして過ごされていることかと思います。終わりが見えないこの状況だからこそ、「今だからこそできること」を見つけてみてください。そしてぜひ行動に移してみてください！困ったときは関高の先生方が力になってくださると思います。この不況を力に変え、これからにつなげていけるような人材になれるよう私も頑張っていきます！皆さんもまずは高校生活を楽しんでください！！！そして頑張っていきましょう！！

卒業式では学科代表として卒業証書を授与していただきました！学生生活のいい締めになりました！